

**事業所名** グループホーム いづえ楽寿  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成19年 3月30日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A:現職 デイサービスセンター管理者  
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、福祉住環境コーディネーター、音楽療法士  
B:現職 理学療法士  
資格・経験 理学療法士、介護支援専門員、ガイドヘルパー講師(3年)

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります！)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	<p><b>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</b></p> <p>「笑顔」「親切」「生き甲斐の追求」を理念とし、「我が家」のように優しい言葉、対応を心がけ、「優しいお嫁さん、優しい娘、優しい孫」となるよう努めている。また、自分たちが入居したいようなホームを目指している。</p> <p>・他に追従を許さないような質の高いホームを目指し、経験のある職員にはできるだけ長く続けてもらえるよう、様々な事情を皆でカバーしながら、将来を見据えたホーム作りを構築している。</p> <p>・重介護の方が増えてはいるが、少しでも出来ることをしてもらい、機能維持を図りながらその方らしく暮らしてもらえるよう、家族や医療との密な連絡・連携を図り、安心・安楽な老後を支援できるよう努力している。</p> <p>・管理者は、開所以来「自分の親のように関わられる家」作りに粉骨砕身してきた、その精神が職員間に浸透してきており、意識統一も図れてきている。入居者を大切にすることは、ひいては職員一人ひとりを大切にすることだという考えがうかがえた。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	<p><b>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</b></p> <p>・室内は明るく、天井の吹き抜けからは光が差し込み、開放感がある。南に突き出た廊下のコーナーにはソファが置いてあり、気の合う人同士で談笑することもできる。リビングにある高さ15センチ位の畳のコーナーは、入居者の生活習慣を考えて設えており、大家族の団欒が快適にできるように工夫されている。</p> <p>・職員は有資格者を揃え、向上心を持って介護に臨んでいる。どんな場合も、穏やかに接することができるチームワークの良いケアを構築しており、入居者は安心して暮らしている様子だった。</p> <p>・職員が出社した際は「帰りました」、帰る際には「行ってきます」と声掛けをし、余計な不安を抱かせないよう配慮しており、些細なところまで気遣いをしている優しいさを感じた。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

外部評価の結果

**講評**

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・「中国地方の守り唄、祥祥の地」として有名な井原市にホームはあり、井原線いづえ駅から程近く、国道313号線沿いの交通至便な場所にある。後ろには経ヶ丸山を控え、田中美術館や城入らず観音にも近い、周りには、井原という郷土色豊かな土地柄を思わせる寄せ集め民家が散在しており、明るく落ち着いた住宅地の一角にある。
- ・建物全体が南向きで明るく、暖かい。バルコニーや吹き抜け、前庭に出られるデッキには柔らかな早春の陽射しが差していた。室内や廊下の波型手すり、リビングには丁度よい高さの畳のスペース、暖房付きの浴室など、認知症高齢者の身体状況を考慮した設備が整っている。
- ・年に一度の誕生日にはお祝いの席を設けて家族を招き、職員も一丸となって心から祝福している。また、月に一度は家族と接する機会を設けるため、利用料の支払いは現金にしている。事あるごとに職員が写真を撮り、家族とのスナップにはこぼれるような入居者の笑顔が数々写っている。「楽しい我が家」という居場所作りに邁進されている様子がうかがえた。
- ・地域との連携については、お祭りの神輿やいづえ神楽などの訪問、いづえ小学校からの訪問もある。近隣自治会や地元消防団とも非常災害時の応援体制をとっているなど、並々ならぬ努力がうかがえる。
- ・管理者は、より質の高い介護を目指すために心血を注いでおり、自分の経験や知識を元に介護レベルの向上に取り組んでいる。また、「楽しく介護しよう」を身上とし、その精神は働く人にも考慮したユニークな勤務形態からも見て取れた。

**特に改善の余地があると思われる点(記述)**

- ・全体的に心身共に重介護の方が多く、症状も様々である。その個々の人格や特性、心身の状況を把握しながら集団生活として入居者全体の生活がスムーズに行われるように配慮していくことは並大抵ではないと思われる。とても大事にしている食事について、職員も一緒に食べられないのは何とも残念である。可能なところから、少しずつでも一緒に食事を楽しめるようにと再度挑戦していかれるとのことである。

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	

**記述項目** 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)

・個人のファイルや記録は、戸棚にきちんと整理して管理している。個別の記録を書く時には、事務室に入って他の方の目に触れないようにして書いている。一人ずつの写真も事務室の中に置いて保管し、必要以上に人の目に触れないようにしている。

・入居者一人ひとりが以前できていたこと・今できていることを把握し、羞恥心からされることのないよう配慮している。入居者の良いところを見つけ、個性として受け取っている。校長先生だった方にはスピーチをしてもらうなど、経験を引き出すような取り組みを行っている。

・個々の人格や性格、価値観や心身の状況などを勘案しながら日常生活をスムーズに行えるように支援しており、一人ひとりを大切に介護の姿勢がうかがえた。

・面会記録簿には、面会用紙に一回一枚ずつ書いてもらい、個人情報の保護に努めている。

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	

**記述項目** サービスの質の向上に向け日頃から、また、関係発生を契機として、努力しているものは何か(記述)

・リビングにはベンギン型の加温器があり、感染予防のために消毒剤を入れている。また、手洗いの励行やうがい、インフルエンザの予防接種、訪問者への呼びかけなど、マニュアルも整備されており、感染予防、衛生・安全管理に気を配っている。

・職員は、認知症や口腔ケアの研修などに積極的に参加してスキルアップに努め、職員間での知識、技術の向上に前向きに取り組んでいる。また、有資格者を揃え、サービスの質の向上に向けて積極的に取り組んでいる。

・転倒が多いので、事故報告書には詳しく状況を書き、真摯に受け止めてもっと良い方法はなかったらどうかと検討している。今後への対応策も考慮しており、ミスを繰り返さないような仕組みになっている。

・緊急時のマニュアルが整備されている。また、心配なことがある時は、管理者がいつでも駆けつける体制がある。

・日頃から優しい言葉を使い、入居者とは礼節をもって接している。言葉を反復し、一呼吸おいて行動するように心がけている。